

エコキャップ運動のおさらい

【[回収されたキャップが寄付金に変わる流れ](#)】

- ①ペットボトルのキャップをはずす
- ②回収したキャップを[回収協力団体](#)が運送
- ③リサイクルメーカーに 400 個(約 1kg)≒¥10 で売却
- ④売却益を回収協力団体が受領

【[寄付金がワクチンに換わる流れ](#)】

- ①世界の子どものワクチンを日本委員会(JCV)に寄付金を寄贈
- ②JCV がニューヨークの UNICEF 本部へ必要なワクチンを発注
- ③世界の工場でワクチンの製造・注射器等購入
- ④支援先にワクチンを冷凍して空輸→現地で運送
- ⑤支援国のこどもたちに予防接種

ワクチンは現在、ミャンマー・ラオス・ブータンの 3ヶ国に提供しています。送るワクチンの種類ですが、2008 年から JCV はポリオではなく **DPT三種混合ワクチン** を送るようにしています。これは、1979 年から国際ロータリーや WHO が主導していた [世界ポリオ撲滅推進計画](#) の成果により、世界中でポリオ患者数が激減したことを受け、UNICEF ミャンマー事務所と JCV が協議をした結果によります。

ちなみに「DPT」とは、①^Dジフテリア ②^P百日咳 ③^T破傷風のことで、WHO の発表では [世界の百日咳患者数](#) は年間 2,000～4,000 万人で、死亡率は 1～2%、死亡数は約 20～40 万人とされています。約 90% は発展途上国の小児ということで、2009 年 4 月 15 日の段階で [患者数が世界に 1659 人](#) しかいないポリオよりも重大です。[DPT ワクチン一人分の単価は約 9 円](#) とポリオワクチンに比べて安いので、より多くの命を救うことができると考えられます。ワクチンの価格には輸送費や現地の医師・看護師等の人件費も含まれます。

なお、[2008 年度のミャンマー定期予防接種支援金額の内訳](#)は

DPT ワクチン	106 万回分 (141 円/回)	約 1 億 4946 万円
使い捨て注射器	116 万 6 千本 (91.3 円/本)	約 1 億 646 万円
注射器処理箱	11,625 個 (820 円/個)	約 950 万円
太陽光式冷蔵庫	5 個 (6935 円/台)	約 3468 万円
管理費(7.5%)		約 2100 万円
	合計	約 3 億 2113 万円

となっています。

単価 9 円の DPT ワクチンも諸経費を併せると 1 回の接種あたり 141 円に跳ね上がります。

また、キャップ回収協力団体のひとつであるエコキャップ推進協会の 2007 年 7 月から 2009 年 10 月 2 日までの実績を検証すると

●回収キャップ数	約 8 億 3403 万個	
●売却益	約 2085 万円	(キャップ 800 個で 20 円)
●ポリオワクチン	約 104 万 3 千人分	約 20 円でポリオワクチン 1 回分)
●CO ₂ の削減量	約 6568t	(キャップ 800 個焼却で 6.3kg の CO ₂ 発生)

となります。しかしながら、エコキャップ推進協会の寄付報告によると寄付金額は[約 850 万円](#)と売却益の 61.4%で、[JCVの 2006 年度の収支決算グラフ](#)を参照しても分かるように、**人件費や管理費のコストが差し引かれている**のでしよう。